



# 第3学年通信 高嶺

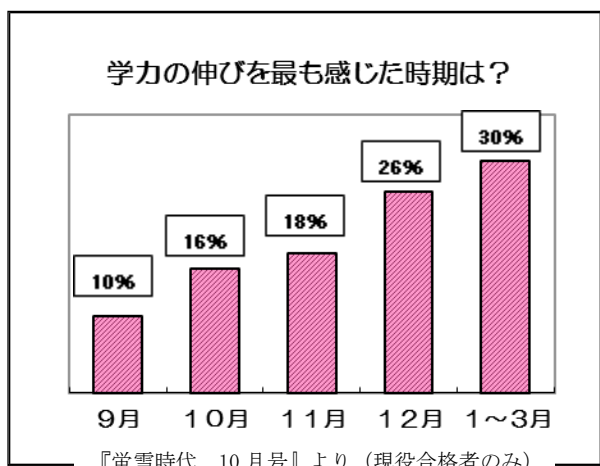
広島県立賀茂高等学校

◆第8号◆ 令和元年12月19日

学年目標 「自己実現に向け、全力を尽くす ～ 志高く、粘り強く～」

センター試験まであと30日 ～現役生はこれからが勝負！～

受験勉強の中で、12月は最も成績が伸びる時期です。受験勉強は、基礎力養成→応用力養成→実戦力養成（現在）の3段階があり、今は、問題を解きながら覚えていく、覚えたことを再確認することが重要です。人は単に「覚える」ことよりも「解く」ことによって知識を深めて定着させていくことができます。



そのためには…

- ①解けない問題は、今まで使ってきた教科書・参考書・問題集に戻る。
- ②その単元の知識をざっと網羅的に確認して、また別の問題を解く。また、時間を計って解答することも重要です。集中力を高める効果はもちろんのこと、「問題を解くのにかかる時間」を身体で覚えておくことが、本番中残り時間でどの問題が解けるかを冷静かつ正確に判断し、確実に得点に結びつけていくことに役立ちます。

センター試験対策 過去問・演習問題集のこんな使い方はNG!

- × 時間制限を設けずに自分のペースで解く。
- × 解答用紙・マークシートを別途用意せずに演習する。
- × 解いて、採点して終わり。問題数はこなしても、きちんと復習をしない。
- × 正答した問題は解説を読まない。間違った問題の解き直しをしない。
- × 正解・不正解や得点に一喜一憂するだけで、自分の弱点や課題を意識しない。

入試に必要な力は、学力だけではありません。出願に関する事務的な手続きが期日までに完璧にできなければ、受験さえできません。出願の可能性がある大学や専門学校は、早めに要項・願書を取り寄せたり、ホームページを見たりして、出願期間、入試日程を確認し、入試会場が県外の場合は受験時の宿泊場所等の準備もおきましょう。

# 大学入試センター試験 1/18(土)・19(日)

本番を見据え、準備を確実に！

試験日	試験教科・科目		試験時間
1/18 (土)	地理歴史 公民	『世界史 A』『世界史 B』 『日本史 A』『日本史 B』 『地理 A』『地理 B』 『現代社会』『倫理』『政治・経済』 『倫理、政治・経済』	2 科目選択 9:30～11:40 1 科目選択 10:40～11:40
		国語	『国語』 13:00～14:20
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	【筆記】 15:10～16:30 【リスニング】 『英語』のみ 17:10～18:10
1/19 (日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30
	数学①	『数学 I』『数学 I・A』	11:20～12:20
	数学②	『数学 II』『数学 II・B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	13:40～14:40
	理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	2 科目選択 15:30～17:40 1 科目選択 16:40～17:40

↓

1/20 (月) 自己採点

↓

1/25 (土)・26 (日) 三者懇談

↓

1/27 (月)～2/5 (水) 国公立大学出願

私立大学のセンター試験利用の出願は、センター試験前に締め切る大学もあります。出願の日程をよく確認し、これまでの努力の結果を最大限生かしてください。

センター試験まであと少し。これからは学習面の対策だけでなく、試験本番に向けての「心構え」も大切になってきます。

準備を確実にすることで、自信を持ってセンター試験に臨めるようにしましょう。

## 試験当日の過ごし方も考えておこう

センター試験当日は、試験開始までの待ち時間の過ごし方も大切なポイント。参考書やノートなどで最終チェックをする、リラックスして待つなど、どんなふうにごせれば自分の実力が最も発揮できるのかを、模試や演習などを利用して確認しておこう。また、昼食時の気持ちの切り替えも重要。

## 優先順位をつけて問題を解くこと

時間を有効に使うためには、問題を解く順番も大切。解き始める前にすべての設問に目を通し、確実に解ける自信のある設問から解くよう心がけよう。

◆模試で解いたことのある問題、似た問題は確実に得点したい！他の受験生と差がつくところでもある。

## 自己採点を正確にするために

個別学力検査の出願は、センター試験の自己採点結果をもとに決定することになる。自己採点を正確に行うため、受験中は解答番号を問題冊子に必ず控えておこう。

## 1点も無駄にしないマーク記入ルール

- わからない設問があっても、とにかくすべての設問にマークすること。
- 訂正をする際には、跡が残らないよう完全に消しゴムで消すこと。
- 「記入欄のズレ」などはないか、問題冊子と突き合わせて確認すること。